



ぽっぽ屋



輸送サービス労組 東京支部

2024.6.2 No. 117

「競い争う」のではなく「協力して走る」地域連帯の取り組み おおたユニバーサル駅伝大会



2024年6月2日、東京支部は地域連帯行動の一環として、大田区主催「おおたユニバーサル駅伝大会」に参加しました。

「ユニバーサル駅伝」とは、小学生や60歳以上の高齢者、視覚障がい者や車いす使用者、聴覚・知的・精神障がいを持つ方などやその他の参加者が5名で1チームを組み、みんなで協力しながら笑顔のたすきをつなぐ駅伝競技です。「競争すること」や「勝つこと」より、チームメンバーの特性を互いに理解し話し合い、それぞれの参加者の目標タイムを決めてそれに近づくように協力して走り・歩き、一期一会のメンバーと共に楽しくたすきをつなぐことが目的です。

今回は、JTSU-E が地域連帯の取り組みとして行っている「ポール de ウォーク」で使用するポールを持参し、歩きながら地域の皆さんとの交流を深め、老いや若き・障がいの有無や国籍など関係なくチームワークを築きました。

大田区職員や地域内外を問わず参加したボランティアなどが大会を支え、これこそが地域に根付く行動であると共に私たちもしっかりと「地域を結ぶ鉄道企業」としてさらに人々との連帯を深めていくことが重要だと実感しました。今後も引き続き、地域と共に連帯を続けます。



地域との連帯から互いを理解し差別のない「共生社会」をつくり出そう!!